

気になる木



夏の日差しは強く、信号待ちのわずかな間も木陰を探してしまいます。藤崎台県営野球場には大きなクスノキがあり、外野席に心地よい日陰を作っていますが、“クスノキ”は熊本県の「県の木」に制定されています。各都道府県のシンボルツリーを調べてみると【表1】のようになりました。山形県のさくらんぼ、長野県のしらかば、広島県のモミジ、香川県のオリーブ、宮崎県のフェニックスなどその都道府県のイメージと結びつくような木が選定されていたりして興味深いものです。



【表1】

都道府県	都道府県の木
北海道	エゾマツ
青森県	ヒバ
岩手県	ナンブアカマツ
宮城県	ケヤキ
秋田県	秋田杉
山形県	さくらんぼ
福島県	ケヤキ
茨城県	ウメ
栃木県	トチノキ
群馬県	くろまつ
埼玉県	ケヤキ
千葉県	マキ
東京都	イチョウ
神奈川県	いちよう
新潟県	ユキツバキ
富山県	タテヤマスギ
石川県	あて（能登ヒバ）
福井県	松
山梨県	カエデ
長野県	しらかば
岐阜県	イチイ
静岡県	もくせい
愛知県	ハナノキ
三重県	神宮スギ
滋賀県	もみじ
京都府	北山杉
大阪府	いちよう
兵庫県	クスノキ
奈良県	スギ
和歌山県	うばめがし
鳥取県	ダイセンキョロボク
島根県	クロマツ
岡山県	アカマツ
広島県	モミジ
山口県	アカマツ
徳島県	やまもも
香川県	オリーブ
愛媛県	まつ
高知県	ヤナセスギ
福岡県	つつじ
佐賀県	クス
長崎県	ツバキ／ヒノキ
熊本県	クスノキ
大分県	豊後梅
宮崎県	フェニックスなど
鹿児島県	カイコウズ、クスノキ
沖縄県	リュウキュウマツ

（都道府県HPのデータを参照）



【表2】

【森林資源現況調査】

順位	都道府県	森林率
	全国	67%
1	高知県	84%
2	岐阜県	82%
3	島根県	78%
4	長野県	78%
5	山梨県	78%
32	熊本県	63%
47	千葉県	31%
47	茨城県	31%
47	大阪府	31%

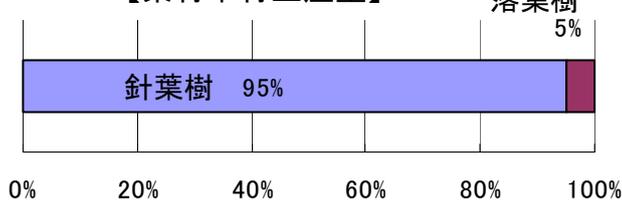
（平成19年度）

「木」が集まると「森」になりますが、日本国土の森林面積は全体の67%で、都道府県別に見ると高知県が84%で一番割合が高く、熊本県は63%で32位でした。また、参考までに一番割合が低いのは、千葉県、茨城県、大阪府の31%でした。

（【表2】林野庁調べ〔※1〕）

次に、農林水産省の「木材需給報告書」（※2）から都道府県別の木材生産量をみてみましょう（【表2】）。1位が北海道で熊本県は5位となっています。また、総生産量818千 m^3 のうち95%が針葉樹で占められています。（針葉樹のうち、すぎ74%、ひのき20%、あかまつ・くろまつ0.7%）

【素材木材生産量】



【表3】

【木材素材生産量】

（単位：千 m^3 ）

順位	都道府県	計
	全国	16,609
1	北海道	3,345
2	宮崎県	1,268
3	岩手県	1,150
4	秋田県	868
5	熊本県	818

（平成18年）

金のなる木（かねのなるき）という縁起のいい名前の木がありますが、もし「希望のなる木」や「元気になる木」という木が実際にあれば、この熊本にたくさん植えたいものです。



※1 林野庁HP（都道府県別森林率）

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/kouhou/toukei/index.html>

※2 農林水産省HP（フリーワード検索で「木材需給報告書」）

<http://www.maff.go.jp/j/tokei/>

